



2001
春季号

ほっと石川

[特集]

配役決定!!
「利家とまつ～加賀百万石物語～」
「利家とまつ」二人の生涯

- 知事の窓
- ほほえみ
- ほっとNEWS
「県民エコステーション」
- 空からみた石川
「金沢市広坂周辺」
- こだま
- ふるさとの味
- 県政ウォッキング
「金沢城復元工事」
- くらしのチラ袋
- 市町村 TOPICS





加賀藩の歴史を築いた 人間模様が 2002年、 全国のお茶の間に。

「利家とまつ」旬の役者を集めた
キヤスティング

「利家とまつ」で四十一作目となる大河ドラマの歴史の中で、夫婦が主役となるのは初めて。近年、男性色の強い作品が続いている中にあって、まつや豊臣秀吉の妻おね、利家のライバル佐々成政の妻など、多くの女性が男性に負けない活躍を見せる内容は、まさに異彩を放つものと言つていいでしょう。

番組の制作統括を務めるNHKの浅野加寿子エグゼクティブ・プロデューサーは、「戦国時代は発展途上のエネルギーに満ちあふれ、男だけでなく女も戦っていた時代です。それにふさわしい役者として、旬を迎えている、いい俳優さんをそろえました」と説明します。

若手人気俳優を中心としたキヤステイシングに、多くの県民の皆さんのが驚き、そして期待を寄せていること思います。

八月から撮影開始 県内ロケも予定

利家・まつ夫婦の家族や家臣の配役の発表は五～七月になる見通しです。撮影は八月の半ばからスタートし、来年の九月まで続く予定です。主要な出演者の皆さんは、三月から時代劇独特の所作や立ち居振る舞いの訓練を始めて準備は着々と進んでおり、民放のトレンディードラマで見慣れていた役者さんたちがどのように変身するのか、今からとても楽しみです。

石川県内のロケ日程は、まだ確定していませんが、「主演の二人がぜひ石川県に行ってみたいと話しています」(浅野さん)とのことで、撮影開始前に一度、唐沢さん、松嶋さんが県内を訪れる場面があるかもしれません。



前田利家役の唐沢寿明さんと、まつ役の松嶋菜々子さん

配役決定!!

利家とまつ

～加賀百万石物語～

8月から本格的な撮影開始



インタビュー 利家とまつに込める思い

NHKドラマ制作局
エグゼクティブ・プロデューサー

あさの
浅野 加寿子さん

利家、まつの持つ人間性、家族愛を描きたい



●プロフィル

慶應義塾大学卒業後、NHK入局。連続テレビ小説「あぐり」など、数々のドラマ番組を制作し、1998年にエランドール・プロデューサー賞（日本映画テレビプロデューサー協会）を受賞。「利家とまつ」に登場する浅野長政は、浅野さんのご先祖にあたるそうで、前田家と浅野家の婚姻の歴史もあり、「利家とまつ」を手掛けけることに「縁を感じています」(浅野さん)。

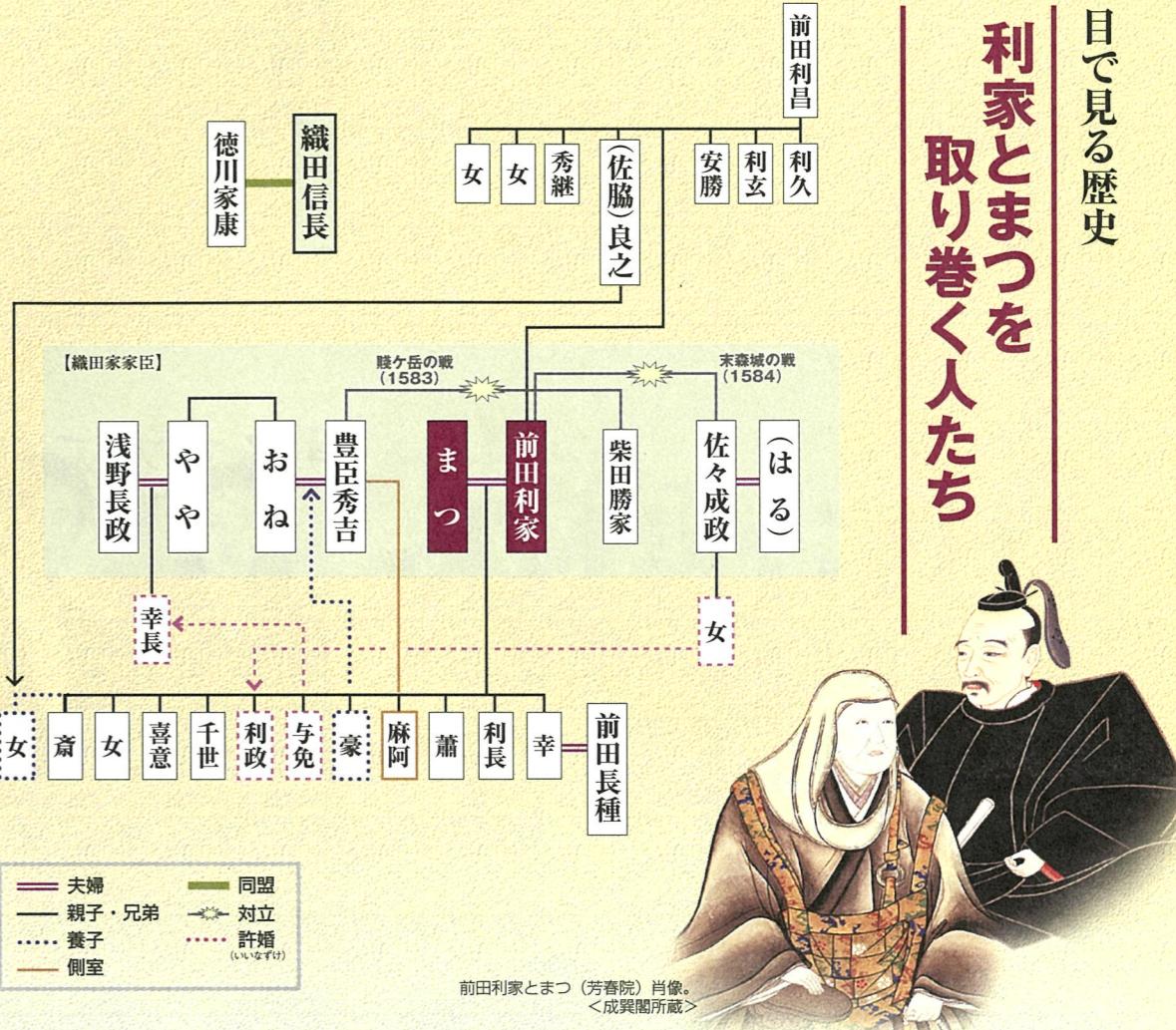
過去、大河ドラマに前田利家が登場した回数は、実に九回に上りますが、失礼ながら常に脇役でした。そんな利家と妻のまつを主役にしてなぜ大河ドラマを作るのかと、次のような理由とねらいからです。一つ目は、利家の持つ律儀、実直、誠実といった人間性が、とても大切な時代になつてゐるのではないかという点。二つ目は、ナンバー2として私欲を捨てた利家の生き方が、新しいリーダー像に合致するのではないかという点。三つ目は、利家・まつ夫妻が見せたきずなと強い家族愛が、親子でさえ人間関係が希薄になつてきた現代への警鐘となり、新たな家族像の模索が始まっている今という時代の指針になるのではないかという点です。

いよいよ八月から本格的な撮影が始まりますが、地元の皆さんの盛り上がりや期待のパワーが、私たちスタッフの大きな励みになっています。北陸の風景もたっぷりとお見せしたいと思っています。愛と笑い、涙とスペクタクルにあふれた、戦国ホーリードrama「利家とまつ」にご期待ください。

「利家とまつ」出演者の皆さん。写真後列左から、山口祐一郎さん、辰巳琢郎さん、加藤雅也さん、竹野内豊さん、高嶋政宏さん、反町隆史さん、香川照之さん。前列左から、天海祐希さん、松嶋菜々子さん、唐沢寿明さん、酒井法子さん。(写真提供/北國新聞社)

利家とまつを
取り巻く人たち

目で見る歴史



第一回 家督繼承

金沢城入城

天正九年（一五八一）、能登一国の大名となる

三十二歳で前田家の家督を継いだ利家は、この後も各地で戦功を重ねます。たびたび劣勢を覆したその槍さばきは、後に「槍の又左」の異名を生んだのです。

天正三年（一五七五）の長篠の合戦で、利家は佐々成政と共に、鉄砲隊の隊長となつて活躍しています。同年、利家は初めて大名になりました。越前の一向一揆を平定した織田信長は利家・佐々成政・不破光治の三人に府中（現在の福井県武生市）付近で三万三千石ずつ与え、柴田勝家指揮下に入れたのです。利家が石川県域に最初に足を踏み入れたのは同五年（一五七七）のことですが、手取川の戦で織田軍は上杉謙信に大敗してしまいました。

同九年（一五八一）、利家は信長から能登一国二十万石余を与えられ、夫人まつを伴つて赴任します。翌十年、所口（七尾市）の小丸山に築城し、能登支配の根拠地としますが、利家は兄安やすかに留守を託して越中に出陣しました。越後の上杉勢がこもる魚津城を攻略したとき、本能寺の変の悲報が届きます。信長の死を知った上杉勢の反攻に備えて、利家は急いで七尾に退却し

●本能寺の変による利家の苦悩

まもなく、前の能登守護畠山氏の旧臣たちが、上杉氏と結んで能登に攻め込みました。利家は、上杉方の石動山天平寺を焼

き払い、また金沢城の佐久間盛政に援軍を頼んで荒山城を攻略し、能登を守ることができたのです。しかし、利家の指揮官の柴田勝家は、信長の仇討ちで、羽柴秀吉に後れをとつてしまいました。勝家と秀吉は、翌天正十一年（一五八三）四月、賤ヶ岳（滋賀県木之本町・余呑町）で激突することになります。

利家夫妻の心中は複雑でした。勝家は、利家が若いころから「親父様」と慕い、三女麻阿を人質に送っていました。一方、秀吉とは、夫婦同士で親しく、四女豪と六女菊が秀吉の養女になつしていました。心配の余り、まつも利家とともに七尾を出発し、長男利長の居城の越前府中城に入つたのです。

● 賤ヶ岳の戦後、居城を金沢に移す

柴田軍として布陣した利家・利長父子は、佐久間勢と秀吉軍の激闘のさなか、戦線を離脱して府中に退却しました。追ってきた秀吉は、豪姫の母であるまつとの面会を口実に城内に入り利家を降伏させたと伝えられます。

金沢に入城した秀吉から、旧領の能登に加え、北加賀二郡（河北・石川）を与えられます。



◆小松市民センターで開かれたふるさと塾では、分かりやすいガイドを目指して、熱心に質問をする参加者の姿も。

◀県立社会教育センター(金沢市)では200人の参加者が、講師の話に聞き入りました。(写真提供／北國新聞社)

能登に入つ
に宝円寺を建
円寺も金沢に
建したのが長
号は利家生母
ます。利家の
安勝とその子
ほきよういんと[※]
の宝篋印塔が
の肖像画を多
利光春（利昌）
に指定されて

シリーズ
ゆかりの地 ②

ちょうれいじ 長齢寺 (七尾市)



利家は天正9年（1581）、能登に入った際、小丸山城の一角に宝円寺を建立しました。利家も宝円寺も金沢に移った後、現在地に再建したのが長齢寺です。改称した寺号は利家母の法号長齢院にちなみます。利家の両親の位牌、利家の兄安勝とその子利好の墓、利家・利長の宝篋印塔があります。前田家一族の肖像画を多く所蔵し、特に利家の父利春（利昌）の肖像画は重要文化財に指定されています。

●お問い合わせ
県観光推進総室
(大河ドラマ石川県推進協議会事務局)
TEL 076(223)9196



羽柴秀吉、柴田勝家が激突した賤ヶ岳の山頂。
(写真提供／北國新聞社)



子どもに自然の大切さを伝える環境学習にも力を入れていきます。写真は、のと海洋ふれあいセンターで開いた「こどもエコクラブ交流会」。

ほつとNEWS

環境のこと、もっと知りたかったら

“県民エコステーション”を訪ねてみよう!

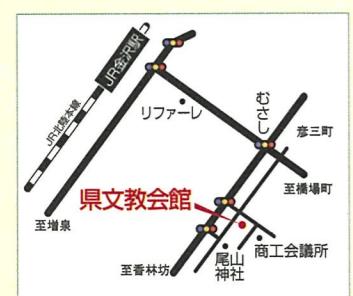
県民の環境保全活動をサポートする「県民エコステーション」がこの4月、金沢市内にオープンします。エコステーションは、環境に関するさまざまな情報の提供、環境学習講座の開催などによって、県民の環境問題への意識を高め、実際の活動につなげてもらうことを目的としています。

賛助会員を募集!!

いしかわ環境パートナーシップ県民会議は、随時、賛助会員の募集を受け付けており、会員数は2月末現在、約400個人と約50団体に上っています。

賛助会員には、情報誌の送付などで環境保全活動の情報を提供していく予定です。

賛助会員の年会費は個人会員が一口2,000円、団体会員は一口20,000円です。会費は、県民エコステーションの活動費の一部に充てられます。



県民・各種団体の環境保全活動を後押し

県民エコステーションは、十三年度から社団法人となる「いしかわ環境パートナーシップ県民会議」の活動拠点となり、また、グループ同士で利用できる交流サロンや、収容人数およそ三十人のサークル室も備え、県民のエコ活動を積極的にバックアップします。

県民だれもが利用できる充実の情報コーナー

県民エコステーションは、皆さんに気軽に足を運んでもらえるようにと、金沢市尾山町にある県文教会館地下一階の一室を活用します。インターネットで環境についての情報を検索できるコーナーや、環境白書からサイクルのノウハウまで多彩な蔵書をそろえた環境ライブラリー、環境保全に取り組むグループの活動などを紹介する展示スペースを設け、情報を幅広く収集することができます。

また、グループ同士で利用できる交流サロンや、収容人数およそ三十人のサークル室も備え、県民のエコ活動を積極的にバックアップします。

県民だれもが利用できる充実の情報コーナー

県民エコステーションは、皆さんに気軽に足を運んでもらえるようにと、金沢市尾山町にある県文教会館地下一階の一室を活用します。

また、グループ同士で利用できる交流

ます。同会議は、商工団体、市民団体など四十八団体で発足の予定で、社団化することにより組織体制の強化を図り、皆さんの自発的な活動をサポートし、県民の環境保全活動を活性化していく

うというものです。

いしかわ環境パートナーシップ県民会議では、これまで環境に関する情報誌『E-Gaia』の発行、学習講座や映画上映会、かんきょうフエアの開催などさまざまな事業を展開してきました。今後さらに、環境保全活動を支援する助成金制度の新設やいしかわ自然学校の管理運営など新しい事業にも積極的に取り組んでいく計画です。

「県内では一体どんな取り組みをしているの」「自分も活動に参加してみたいけど、どんな団体があるの」など、関心のある方はぜひ一度、立ち寄ってみてください。

●お問い合わせ
県環境政策課

TEL.076(223)9167 FAX.076(222)1117



「雪道を散歩などするからや。頭も打っているに決まっている。検査しなさい」。受話器の向こうから、七十八歳になる母の声が響いてきました。わたしに事情を説明する間も与えず、気遣い、そして叱り続ける母に、「心配かけてごめん」と謝りながら、「ああ、親にとつて子供はいくつになつても子供なんだなあ」とありがたく思いました。

わたしの不注意から起きた骨折で、県民の皆さんにもご心配とご迷惑をかけました。県のホームページにあるわたしのコナーハへも、お見舞いやご叱責のメールをたくさんいただきました。ありがとうございます。

事故直後は左腕をギプスで固定され、靴下一枚はくことさえ

できず、不自由さを嫌というほど味わいました。障害のある方のことは、自分なりに想ひます。

母からの大団扇。 仕事で県民にお返しを

りに分かっていたつもりでしたが、正直、「これほど!」とは想像もつきませんでした。それから一週間もすると、今度は何とか一人でやってみようという意欲を持ち始めた自分に気づきました。

早速、介護用品店でマジックテープで止める下着を買いました。これを使うと一人でも着替えができる、思わずうれしくなりました。こんな便利な商品が身の回りにもっと増えれば、仮に障害があつても自立した生活が送れ、やる気がいま以上に出てくるのに、強く実感した次第です。

そんな意味で、骨折事故はわたしにとつていい勉強になりました。「だれもがハンドicapを感じずに生き生きと暮らせる」。わたしからのお見舞い返しは、そんなふるさとづくりへの全力投球にしたいと思っています。



株洲市ボランティアの会 「歌声サークル」

●お問い合わせ
〒927-1214
株洲市飯田町5-9
株洲市社会福祉協議会
(市民ふれあいの里健康増進センター内)
TEL.0768(82)7751

ふれあいを通して、元気を 分けてもらっています

老人ホームで 歌の楽しさ伝える

株洲市ボランティアの会「歌声サークル」は、毎月一回、市内の老人ホームを訪ね、お年寄りと歌やゲームを楽しむ活動に取り組んでいます。今ではすっかり顔なじみになり、顔を見るだけでその日の体調や機嫌も分かるようになつたそうです。

「皆さんのが何よりうれしい。ボランティアというより、わたしたち自身が元気をもらっているんです」と代表の新出精一さん。六人のメンバーも「サークルの活動が生きがい」と口をそろえます。

ほほえみ smile 石川のボランティア

昭和六十三年の結成以来、お年寄りのために活動を続けている「歌声サークル」のメンバーも六十歳から七十二歳と高齢化しています。超高齢社会の時代とはいえ、長く活動を支えてくれる若いメンバーがないのはやはりさみしいとか。今後は、会を広く知つてもらい、若い人に参加を呼びかける活動にも力を入れていくそうです。

若いメンバーを募りたい

これまで、これまで環境に関する情報誌『E-Gaia』の発行、学習講座や映画上映会、かんきょうフエアの開催などさまざまの事業を展開してきました。今後さらに、環境保全活動を支援する助成金制度の新設やいしかわ自然学校の管理運営など新しい事業にも積極的に取り組んでいく計画です。

●お問い合わせ
県環境政策課

TEL.076(223)9167 FAX.076(222)1117

県都のシンボルゾーンを一新する プロジェクトが進行中

21世紀を
ひらく

空からみた石川

金沢市広坂周辺

加賀百万石のシンボルと言えば金沢城と兼六園。金沢市のど真ん中にあって、県庁と市役所、本多の森文化ゾーン、北陸一の繁華街片町・香林坊に囲まれた広坂周辺では、現在、県都の顔にふさわしい新たなプロジェクトが進行しています。



平成12年10月撮影
金沢城の威容をいまに復元

金沢城址公園では、江戸時代後期の金沢城の威容を伝える菱櫓、五十間長屋、橋爪門、続櫓の復元工事が、今年夏の完成をめざして急ピッチで進んでいます。今はまだ、風雨を防ぐ大屋根に覆われ、その全容はうかがえませんが、鈍色に光る鉛瓦と美しいなまこ塙、石垣が、石川の誇る職人たちの手で丁寧に復元されています。この金沢城址公園を中心とする兼六園周辺文化ゾーンを主会場にして、今年九月八日から十一月一日まで、「第十八回全国都市緑化いしかわフェア」を開きます。同フェアは、心豊かな暮らしの創造に向けて、樹木や草花で潤いのある都市環境づくりの大切さを、全国に発信するものです。

同フェアの開幕に合わせて、復

元建物もお披露目し、その特徴や構造の紹介、金沢城址の発掘調査で見つかった出土品などを展示します。

格調高い 新たにぎわいの 創出に向けて

県では、金沢市と密接に連携しながら、近年、空洞化が懸念される都心部を活性化させるさまざまなお写真を描いています。石川県庁が十五年春に移転するのを受けて、その跡地利用をどうするかも重要な問題です。

県では、有識者による懇話会を設けて活用策を探っており、「知性のゾーン、知的空間として整備」との中間取りまとめがなされています。

今後つくられる整備計画が具体化していくば、跡地周辺の兼六園、県立美術館、県立歴史博物館、県立伝統産業工芸館、県立図書館、金沢市が整備する広坂芸術街(仮称)などの文化施設と相まって、より個性的で魅力あふれる街の誕生が期待されます。

「市町村合併への県のスタンスは?」

多様化する行政ニーズへの対応と効率化を図るために、市町村の広域合併が時代の流れとなっています。この話題に対する県の対応は。

お答えします!

住民意思を尊重し、議論の高まりを支援

市町村合併は、住民意思が尊重され無理のない形で行われることが重要です。県では今年二月、合併パターンを含む広域行政推進要綱を策定しました。市町村や地域住民の間で議論が高まるよう、シンボリウムの開催やパンフレットの発行、職員の説明会への派遣等による情報提供や県独自の財政支援に積極的に取り組んでいきます。



鹿島町 ■ 山本 覚夫さん

「高齢者への
IT指導に
力を!」

お答えします!
全県下で
講習会を開催します

IT(情報技術)革命が叫ばれ、パソコンが日常生活に欠かせない道具になってきます。高齢者に対するパソコンの利用指導や浸透に力を入れてほしい。

にんじんジャム



ニンジンのカット作業。
甘さ控えめのジャムは、料理のかくし味や離乳食にもぴったりです。



小松市

ビタミンや繊維質が豊富
栄養満点の手づくりの味

「にんじんジャム」は、小松産の完熟ニンジンを使用した、無添加の手づくりジャムです。ゆでたニンジンをミキサーにかけ、リンゴやオレンジの果汁などを加えて煮つめると、ビタミンAや繊維質をたっぷり含んだ、栄養満点のジャムが出来上がります。地元農家の主婦たちが、16年も前から試作に取り組み、ようやく完成にこぎつけた商品で、県外からも注文がくるという人気ぶりです。

●お問い合わせ
こまつ食彩工房ジャム部会
(代表/小前田 昭美さん)
小松市松崎275
TEL.0761(44)1436

志賀町

ほのかな塩味が
昔懐かしい素朴な味

「ふるさとせんべい」は、さっぱりした塩味とサクッとした歯ごたえを持つ、昔懐かしいポンせんべいです。添加物を一切使用せず、地元農家で収穫したコシヒカリを100%使用し、卵白、コンブ、塩、ゴマなどの自然素材だけを加えました。農家のお母さんたち8人がメンバーとなっている「山ゆりグループ」が生産しており、味噌やもちの加工のほか、草だんごやかきもちの商品化にも力を注いでいます。

●お問い合わせ
山ゆりグループ(代表/長瀬 登志子さん)
羽咋郡志賀町倉垣20-35
TEL.0767(36)1052

●お問い合わせ
●石川県農業情報センター
金沢市才田町戊295-1 TEL.076(257)9150

ふるさとせんべい



以前は一枚一枚手で焼いていましたが、最近は機械化が進み、生産効率も良くなりました。



●県政モニター制度とは…

県内市町村長の推薦で選ばれた男女100人に、県政をともに考えるパートナーとして、建設的なご意見や地域での要望を自由にご報告いただく制度です。県政モニター会議や県の施設の見学会などもあります。また、アンケート調査にもご協力をいただいており、任期は2年です。

●お問い合わせ
●県広報広聴室
TEL.076(223)9106



松任石川広域事務組合環境クリーンセンターにあるリサイクルプラザには、学習施設も用意されています。

柳田村 ■ 渋田 鉄也さん

「ごみ問題に
どうやって
取り組むか?」

お答えします!
RDF製造施設と
リサイクルプラザを整備



ごみの分別収集の徹底やリサイクルの推進を図るほか、ごみを燃料化するRDF(ごみ 固形燃料)製造施設と、粗大ごみを破碎・選別し、金属類・ガラス類を再利用するリサイクルプラザを整備します。RDFは、志賀町に建設する専焼炉で焼却し発生する熱エネルギーは発電に、溶融スラグは路盤材などに活用するなど、可能な限りリサイクルすることにしています。



老人ホームの運動会にボランティアとして参加する高校生。

こだま



県では、県民の皆さんのが意見を反映させるため、さまざまな広聴活動を行っています。今回、県政モニター四人から寄せられたご意見とそれに関する県の取り組みなどを紹介します。



野々市町 ■ 坂井 菅子さん

お答えします!
自然な形で
浸透するよう努めます

ボランティアの趣旨は、ご意見の通りだと考えます。一方、尊い奉仕の心が、何もしない中で果たして育つかという議論もあります。地域の皆さんと連携を取りながら、子どもが参加するクリーン活動や中学二年生を対象にした職業体験などを通して、できる限り自然な形でボランティア活動が浸透していくことを願っています。

「ボランティアの義務化に疑問を感じます」

多様化する行政ニーズへの対応と効率化を図るために、市町村の広域合併が時代の流れとなっています。この話題に対する県の対応は。

お答えします!

住民意思を尊重し、議論の高まりを支援

市町村合併は、住民意思が尊重され無理のない形で行われることが重要です。県では今年二月、合併パターンを含む広域行政推進要綱を策定しました。市町村や地域住民の間で議論が高まるよう、シンボリウムの開催やパンフレットの発行、職員の説明会への派遣等による情報提供や県独自の財政支援に積極的に取り組んでいきます。



県民リポーターが行く
県政ウォッチング



■金沢城復元工事

明治以降、 国内最大の木造城郭建築。 石川の職人魂と技を 後世に伝える



5通りの大きさの鬼瓦が、屋根に45個設置されます。1番大きいものは菱檜用で、幅2メートル、重さは300キロだそうです。



(上) 復元工事の目玉である菱檜では、屋根を張る作業が行われていました。床も柱も菱形で梁も菱形に交差しており、難度がとても高い作業です。

(右) 木型の瓦の上に厚さ1.8ミリの鉛の板を張つてつくる独特の屋根は、数年たつと表面の瓦が白く変色して、うっすら雪をかぶったようになります。



予想を上回る大きさにびっくり

夫の実家がある金沢市に引っ越して以来、歴史と文化の香りを感じさせてくれる石川のファンになつたわたし。約二百年前に建てられた当時の姿そのままに再現するという、ロマンに引かれて現場を訪れました。

外観をすっぽりと覆つ建物の中に入つてます驚いたのは、予想をはるかに上回る櫓や長屋の大きさでした。工事を監督する當緒課長の瀬風一雄さんによると、一番高い菱檜で十七メートル余り、土台の石垣を入れると約三十メートルもの高さになり、七、八階建てのビルに相当す

金沢城址公園では今年七月の完成に向けて、金沢城菱檜、五十間長屋、橋爪門続櫓を復元する工事が順調に進んでいます。石川の工匠が精魂を込めつくる巨大な工事現場を、今回のリポーター楠誠子さんが訪ねました。

伝統技法に延べ五万人が従事
さるに驚かされたのは、復元にあたつて気が遠くなるほど手の込んだ工程の数々でした。伝統的な木造軸組工法を採用し、壁の構造から瓦の材料に至るまで史実を尊重して再現するため、県建築組合をはじめ、左官、板金、建具、石材など九つの職種の組合が「石川の伝統的建造技術を伝える会」を組織しました。



格子が美しい海鼠(なまこ)壁。素焼きのいぶし瓦の境目、ナマコのような形の瓦を張ったことからこの名が付けられました。

法や技術を、次世代に継承するという大きな目的と意義が、この復元工事にはあります」と瀬風さん。

完成までに要する人員は延べで約五万人にもなるそうで、現場を回ると、年配の親方や四、五十代のベテランに交じつて精を出す若い職人の姿が印象的でした。

バリアフリー、防災に 生きる現代技術

完成後は歴史館として一般開放される復元金沢城です。だれもが気軽に足を運べ、安心して見学できるよう、バリアフリーにも細心の注意が払われます。館内には、スロープや階段昇降機、エレベーターが設置されるそうで、瀬風さんは、「車いすの方などにも楽しんでいただきたい、設備だけでなくソフトも充実したんですね」と話します。

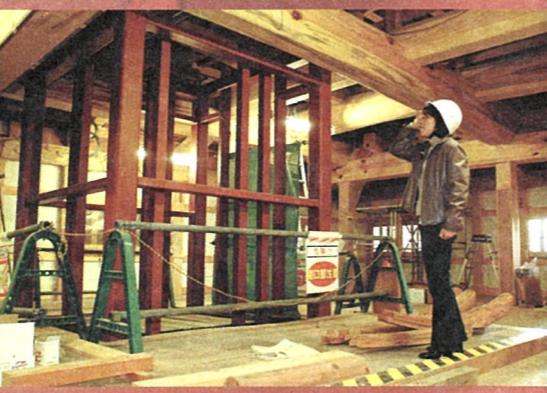
このほか、耐震性や強度を考慮して石垣の中に鉄筋コンクリートの基礎を入れたり、難燃性の塗料を木材に塗つたりと、安全性を高めるための現代技術が目に見えないとこで生きています。

築後一百五十年以上の風雪にも耐えられるよう、技術の粋を尽くして復元される金沢城。平成の建築史に残る大事業を支える職人の技と心意気も、受け継いでいってほしいと願わざにはいられません。

●リポーター

楠 誠子さん (金沢市在住)

北海道出身。臨床検査技師として勤務するかたわら、ボランティアの観光ガイドとして活躍。加賀藩の歴史に興味があり、さらに知識を深めるため、現在、「ほっと石川観光ふるさと塾」を受講中。



続櫓に設置されるエレベーター。場所は、当時、荷揚げ場に使われた穴があったところで、平成金沢城ではガラス張りのエレベーターに変身します。

お問い合わせ
石川県土木部宮崎課

TEL.076(223) 9317 FAX.076(223) 9468

●工事の進ちょく状況は県ホームページでも紹介しています
<http://www.pref.ishikawa.jp/eizen/sintyoku/siro/hisiyagura.htm>

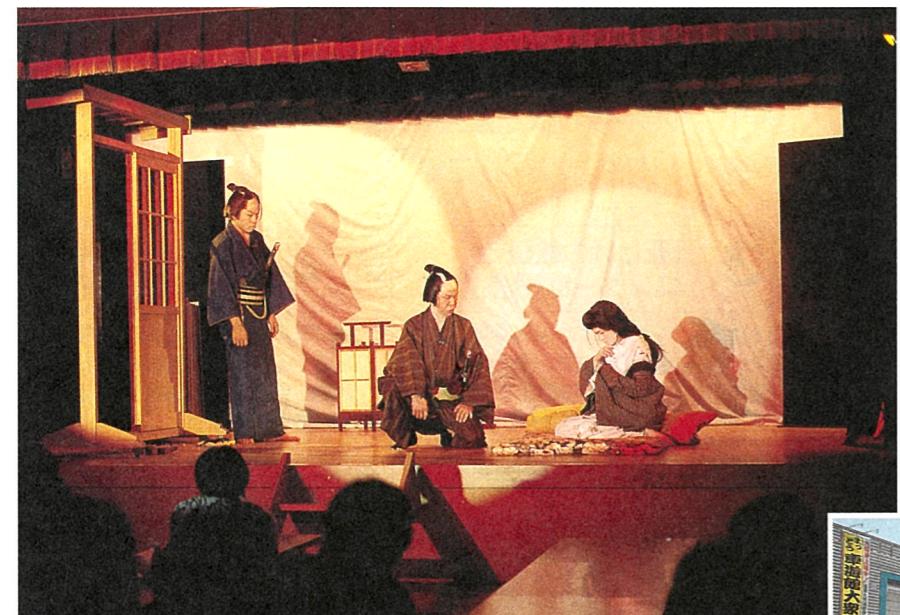
MATTO

松任市

手取川扇状地に広がる松任市には、美術館や博物館、海浜公園、総合運動公園など文化や自然を体感できる施設がたくさんあります。今回は、特にまつとう車遊館の大衆劇場と中川一政記念美術館をご紹介します。

SPOT

1 まつとう車遊館・大衆劇場



観客からは大きな拍手や笑いが巻き起こり、おひねりが飛ぶこともあります。

利用案内

公演時間 午前の部…開演10時半(開場9時半)
午後の部…開演2時(開場1時)

休演日 第3木曜日、月末2日間

観覧入場料 1,800円(税込み・全席自由)

日帰りプラン 3,000円(昼食・入浴付)

無料バス 金沢駅西発 午前9時、午後1時
運行時間 松任駅発 午前9時半、午後1時半
車遊館発 午後2時、4時半

お問い合わせ

松任車遊館協同組合
松任市徳光町2398-1(車遊館内)
TEL.076(276)1458

2 中川一政記念美術館



●お問い合わせ
中川一政記念美術館

松任市旭町61-1 TEL.076(275)7532

文化勲章受章者で、松任市ゆかりの洋画家・故中川一政氏の力強い独特的の筆致とみずみずしい感性あふれる油彩や岩彩、書、陶器など約60点を展示。2カ月に一度、展示作品の入れ替えを行っているので、訪れる度に新たな魅力に出会えます。現在、友の会員を募集しています。会員の方には、常設展や企画展の無料鑑賞、会報の

送付など、さまざまな特典がありますので、ぜひお申し込みください。

利用案内

開館時間 午前9時~午後5時
(ただし、入館は午後4時半まで)
休館日 毎週水曜日、年末年始
入館料 大人…200円、小中高校生…100円
※団体(20名以上)は半額
友の会
会員年会費 大人…1,000円、小中高校生…500円



新たな魅力が加わり、話題満載

松任CCZの中にある「まつとう車遊館」に、昨年秋、大衆演劇専門の劇場がオープンし、涙あり笑いありの時代劇が話題を呼んでいます。

1日2回行われる舞台は、大衆演劇に歌と踊りが加わる2部構成で、東京演劇協会所属の31劇団が毎月交替で来演するというのも魅力となっています。

観劇と食事、松任CCZ温泉での入浴がセットになった日帰りプランのほか、特典いっぱいの演劇友の会会員制度などの企画も盛りだくさん。ドライブがてら、大衆演劇の魅力を見せてみてはいかがでしょうか。



巨匠の足跡と美の結晶にふれる



洗剤を使わない

何気なく使っている洗剤が川を汚す

- 和ふきんやアクリル100%の食器洗いを使うと、洗剤なしでも油汚れがよく落ちる。
- こげた鍋を洗うときは、卵の殻を碎いてクレンザーデ代わりに使う。
(卵の殻は流さずにゴミ箱に捨てよう)
- ミカンの皮の煮出し汁で畳をふく。



汚れに効く酸のチカラ

ミカンやレモンの皮などに含まれる酸には殺菌・消臭効果があり、油などのアルカリ性の汚れと中和して汚れを落とします。料理に使う酢も、同量の水で割って流し台やお風呂などを磨くと石けんカスを分解するのでカビ防止にもなります。

水
... [Water]

「湯水のように」ぜいたくに使わないで!

日本人にとって、昔から水は豊富な資源の代表格。だからといって蛇口から出しち放しにして無駄に使ったり、油などで汚れた水を排水口に流したりしないよう気をつけましょう。自然からもう水はきれいにして自然に返したいものです。

節水&水を守る

生活排水の浄化には大量の水が必要



- 米のとぎ汁は庭木や花壇などの肥料代わりにする。
- 油は流さない。たとえば、古い電話帳をちぎって、鍋やフライパンの油汚れをふいてから洗う。
- 古くなったTシャツ、タオル、シーツなどを、油ふき取り用や、そうじ用に小さく切ってためておくと便利。
- お風呂の残り湯は洗濯に使おう。
(温かいうちなら汚れ落ちも良くなる)
- 歯磨きのときや食器洗いのとき、こまめに蛇口を閉め、水の流しち放しはやめよう。

もし、これだけの量を流したら…

川を汚さないようにするには、炊事や洗濯などからの排水を減らすことが何より大切です。特に、油や合成洗剤は、浄化に大量の水を必要とします。自分でできる、ちょっとした工夫で水資源を守りましょう。

●魚のするめる水にするために必要な水の量は?

| 食品名(量) | 浴槽(300ℓ)何杯分 |
|-------------|-------------|
| コーヒー(200mℓ) | 0.8杯 |
| 米のとぎ汁(2ℓ) | 4杯 |
| 天ぷら油(500mℓ) | 50杯 |

資料:『新水とゴミの環境問題』/TOTO出版

出典:『豊かな暮らしのチエ袋』石川県健民運動推進本部 TEL.076(223)9113

第18回 全国都市緑化いしかわフェア 夢みどりいしかわ2001

平成13年9月8日(土)~11月11日(日)

あなたも参加しませんか!



●スタッフ、花壇づくり参加者、作品、アイデアを募集します●

花と緑の祭典『夢みどりいしかわ2001』の開幕が、いよいよ今秋に迫りました。開催に向けてフェアを盛り上げていただくスタッフや花壇づくりの参加者、絵画作品、都市緑化のアイデアを募集しています。県民あげての大イベントに、ぜひ参加してください。



1 スタッフ

フェア期間中、金沢城址会場で勤務する会場スタッフと、運営を手伝っていただくボランティアスタッフを募集します。

| 区分 | 募集する職種 | 募集人員(予定) | 主な業務内容 | 申し込みについて |
|--|-----------------------|-------------|------------------------|---|
| 会場スタッフ *時給950円 交通費 (一律1,000円/日支給) | アテンダント | 男女37人 | 会場案内、ゲート改札など | 締め切り:6月15日(金) 当日消印有効 詳しくは運営課 ☎076(261)1512まで |
| | サービススタッフ | 男女63人 | 来場者の整理・誘導、会場内巡回等の運営補助 | |
| | インフォメーションセンター スタッフ | 男女6人 | 電話応対、場内アナウンス | |
| ボランティアスタッフ *活動費(1,500円/日) をお渡しします。 | 花園ボランティア | 平日15人・土日20人 | 花壇の手入れ、花園案内の補助 | 締め切り:6月29日(金) 当日消印有効 詳しくは運営課 ☎076(261)1512まで |
| | サービスボランティア | 平日23人・土日26人 | 体の不自由な方の補助、車いすなどの貸出の受付 | |



2 「みんなの県民花壇」参加者

金沢城址会場を彩る花壇づくりに参加しませんか。フェア終了後はコンテナやバスケットはそのままプレゼントします。

【参加費】

無料

【締め切り】

5月31日(木)必着

【応募方法】

実行委員会事務局や市町村窓口に備え付けの申し込み用紙に必要事項を記入のうえ、郵便かファクシミリでご応募ください。応募者多数の場合は抽選になります。

【お問い合わせ】

出展課

☎076(261)1517



これらのはかにも、参加型イベントや各種コンクールなど、皆さんのが生きる企画やイベントが盛りだくさんです。文字通り「県民総参加」のフェアを目指しています。詳しくは右記までお問い合わせください。



3 「花と緑の絵画コンクール」作品

「花・緑・夢」をテーマに、身近な草花や緑いっぱいの未来の街など、子どもたち(保育園児~中学生まで4部門)の感性を自由に表現した作品をお寄せください。

【応募規定】

紙はB4サイズの画用紙、画材はクレヨンか水性絵の具を使用してください。

【締め切り】

6月30日(土) 当日消印有効

【お問い合わせ】

催事課 ☎076(261)1520



4 「2050年 みんなの夢みどり」アイデア

「2050年にわたしたちの街がこうなつたらいいね」というあなたのアイデアを募集します。未来の街にもっと緑を増やす方法や、「ちょっとムリかな」と思う夢でもかまいません。

【応募方法】

はがき、封書、ファクシミリ、メールなど、応募の形態や文字数は問いません。絵画や写真でも結構です。

【締め切り】

7月30日(月)必着

【お問い合わせ】

出展課 ☎076(261)1517

第18回全国都市緑化いしかわフェア実行委員会事務局

〒920-0963 金沢市出羽町2番1号

TEL: 076(261)0101 FAX: 076(261)0505

<http://www.yumemidori.com/>

- 巻頭特集の取材でNHKの浅野加寿子さんから、利家役の唐沢寿明さん、まつ役の松嶋菜々子さん、信長役の反町隆史さんの配役に対する思い入れをうかがった翌日、松嶋さん、反町さんの入籍のニュースにびっくり。二人が一緒に登場するシンを思い浮かべ、今からニヤニヤしています。(M)
- 二〇〇一年度の始まりを機に、表紙を含め、誌面全般の刷新を図りました。新しい記事も盛り込み、県民の皆さんに県政の「今」をより詳しく、そして分かりやすくお伝えしていきたいと思ってます。ご感想もお寄せくださいね。(S)

編集後記

表紙について 谷内正遠さん作

今号より、表紙絵を津幡町在住の版画家、谷内正遠さんにお願いすることになりました。谷内さんは昭和五十六年(一九八一)から独学で木版画を始め、個展を中心とした活動に取り組む一方、版画教室などを開き、木版画の普及にも努めていらっしゃいます。多色刷りによる風景画に味わいのある作風で、今後県内各地の風景を描いていたたく予定です。

- 知事のホームページの提言コーナー
いしかわ夢づくりEメール
- 県のホームページからアクセスしてください。
<http://www.pref Ishikawa.jp/>

前略 石川県知事

ご意見・ご提言をお寄せください
げんせい POST
県政に対する
ご意見・ご提言をお寄せください